令和元年度　第1回学校運営協議会　議事録

開催日：令和元年７月８日（月）
時　間：15:30~16:30
場　所：深沢高等学校会議室
司　会：大谷総括教諭
記　録：遠藤総括教諭

＜出席委員＞
石川　裕子　委員（会長）
池田　実　　委員（副会長）
里見　正憲　委員
嶋村　勝美　委員
瀬谷　公重　委員
堀井　久章　委員
荒井　里美　委員
（委員総数９名、欠席２名）

＜説明のための出席者＞
なし
＜傍聴者＞
なし

＜議事等の概要＞
１．校長あいさつ
・昨年から引き続き５名、本年度から３名のメンバーの方にお引き受けいただきありがとうございました。
・合言葉は「チーム深沢」。より良い学校教育に向けて、話し合いを通して特色ある教育を作っていきたい。
・AI の普及や成人年齢の引き下げといった高校を取り巻く環境変化の中で、学力向上や人間力・規範意識の育成を目指したい。
・「主体的・対話的で深い学び」の視点から、単なる知識だけでない、社会で通用する対話能力が不足している若者が存在する。対話的コミュニケーション能力は大学生になってから身に付ける機会は少なく、中高生で学ぶ部分が大きいため、高校教育の大きな役割を感じている。
・グランドデザイン（要覧ｐ．5）２本の柱の中でも、あいさつ習慣・生徒の主体的な行事の取組からキャリア形成につなげていくことに重きを置いている。
・本年度、県立高校改革による教育課程研究開発校（新科目「公共」）の指定校となっている。

２．学校運営協議会設置の趣旨説明 資料１

事務局（副校長）から学校運営協議会設置要綱の第２条・第５条を中心に説明。

３．学校運営協議会委員の紹介等

校長から協議会委員紹介及び事務局自己紹介

※委嘱委員

No.	区　分	委員氏名	所属等	部会
1	地域住民	池田 実	鎌倉西ライオンズクラブ代表	地域連携
2	学識経験者	里見 正憲	桜美林大学入学部高大接続アドバイザー	キャリア
3	学識経験者	植阪 友里	東京大学准教授	キャリア
4	地域住民	小日山 理香	鎌倉市立手広中学校長	キャリア
5	地域住民	嶋村 勝美	片岡幼稚園理事長	地域連携
6	関係行政機関の職員（鎌倉市）	瀬谷 公重	鎌倉市こどもみらい部次長	地域連携
7	その他（同窓会）	堀井 久章	本校同窓会副会長	地域連携
8	保護者	荒井 里美	本校ＰＴＡ会長	キャリア
9	当該校長	石川 裕子	本校校長	キャリア

４．副会長の選任

副会長：池田委員

５．学校運営協議会の運営計画・部会設置等について

・運営計画について、資料２ により年間の活動計画を説明

・部会設置について、資料１ 第 12 条より部会案を提示し、了承

→学校評価部会長：里見委員、他の部会は第２回までに調整

６．令和和元年度学校運営に関する基本方針等について

・平成 30 年度学校評価報告書実施結果（要覧ｐ．10、11）を資料に、副校長から昨年度の取組について補足説明。

7．令和元年度学校運営に関する意見交換

・平成 31 年度学校評価報告書目標設定（要覧ｐ．8、9）を資料に、各グループリーダーより今年度の取組について説明。

・その他添付資料

資料４　深沢高校授業研究テーマ　「わかる」から「できる」へ

資料５　新科目「公共」における３年間計画書

資料６　令和元年度　神奈川県立深沢高等学校　宿泊防災訓練

資料７　令和元年　２学年　修学旅行　行程表

資料８　深沢高等学校ボランティア委員会の年間活動計画について

資料９　神奈川県立深沢高等学校 2019（チラシ）

を資料に、各担当より今年度の取組について説明。

【各委員からのご意見等】

・瀬谷委員：「来たくなる学校」となるためには、生徒がそれぞれ役割を持って承認されることが必要。SC 相談件数が増えたことからもそれが感じられる。来年から鎌倉市全小学校で「放課後かまくらっこ」が始まるので、そこでのボランティアとして承認されるのも一つ。協力を要請したい。

・嶋村委員：あいさつはコミュニケーションの始まりであり、その後の共同生活や協調関係を育む上でとても大切。あいさつ習慣は方針として素晴らしい。

・池田委員：課題を解決する力がとても大切になってくる。ボランティアや宿泊研修などにおいて工夫と新しいメニューを取り入れていくことを検討したほうが良い。

・里見委員：それぞれのグループで具体的なプランを持っているのが良い。大学入試等において AO 受験等の際に、自分について語ることがあると良い。部活動やボランティアなど何もやっていない生徒のフォローができて、生徒がそれぞれの経験の中で自信をもって語れるように指導ができると学校としてランクアップできると思う。

・堀井委員：鎌倉市も高齢化率が高い。子どもや障害を持った人とも共生するためには、少しの配慮やボランティア精神が大切。地域の教育の中で共助の精神を養ってほしい。

・荒井委員：一つ一つは良いことだが、多くのことを詰め込みすぎていると感じる。みんなが「良い子」で自己肯定感を高めることで他者とぶつかる場合もある。周りを気にしすぎて自己否定に陥らないよう、それぞれの経験をアピールできる力を付けることが大切。

・瀬谷委員：今の高校生には「生きづらさ」があると思う。不登校などもカウンセラーや保護者を始め、周囲の理解が大切。学校としても取組を進めてほしい。

・里見委員：これからオープンスクールなどが開催されるが、中学生に最新の情報を知ってもらうために、HP の更新をこまめにした方が良い。

【今年度の基本的な学校運営について】

・全委員により承認

・副校長：今後の方向性として、評価目標へのご指摘など生かしていきたい。HP の更新も取り組んでいきたい。

【学校評価目標について】

・里見委員：生徒の主体性を育む教育活動をはじめ、各項目は現在の教育課題に合致しており、学校評価目標として適切である。

・全委員により、学校評価目標について全員承認

【まとめ】

・池田委員（副会長）：地域住民として、深沢に愛着があり、深沢高校生のことも話し合いに参加することで応援していきたいと思っている。

８．その他

・第２回学校運営協議会の日程調整について、予定表を記入の上回答が欲しい。

・集約して後日改めて調整。

９．閉会　副校長より